

高野佐三郎杯

第5回 県北年代別剣道選手権大会

高野佐三郎
克 堪 克 忍

日時 令和8年2月22日(日)
9時30分開会

会場 熊谷市スポーツ文化村 くまびあ

主催 県北剣友会

共催 熊谷・秩父・本庄・深谷・寄居・小鹿野

剣道連盟

後援 旧高野家

NPO 剣宝会

祝
高野佐三郎杯



旧
高
野
家

高野佐三郎
克 堪 克 忍

克堪克忍

高野佐三郎範士が揮毫した「克堪克忍（こくかんこくにん）」とは、「よく堪え、よく忍ぶこと」を意味し、出典は『孟子』で、「よく堪え、よく忍ぶことが修行の目的を達成する早道である」と説き「克堪克忍」の思想的背景となる。

克堪は「よく堪える」「堪え尽くす」の意味で精神的・肉体的な苦難に耐え抜くこと。

克忍は「よく忍ぶ」「忍び尽くす」の意味で怒りや欲望、困難を抑え、耐え忍ぶこと。

この二語を重ねた「克堪克忍」は、ただ耐えるのではなく、「意志をもって徹底的に堪え忍ぶ」ことを表し、剣道は修行が重要で、「修行とは『行を修める』」ことで、そこには強い忍耐が不可欠である」と意味する。

高野佐三郎範士は「克堪克忍」を79歳（昭和15年）、83歳（昭和19年）そして84歳（昭和21年）と揮毫している。この記念手拭いは高野佐三郎範士84歳の揮毫で、逝去される5年前、秩父・中町で書き下ろしたが、晩年高野佐三郎範士は戦後、後世に何を伝えようとしたのか。

令和8年2月吉日

第5回 高野佐三郎杯記念大会によせて

大滝早苗（旧姓高野）